

ライラの冒険 黄金の羅針盤

2008(平成20)年1月30日鑑賞(GAGA 試写室)

★★★



監督・脚本＝クリス・ワイツ／原作＝フィリップ・ブルマン『黄金の羅針盤』（新潮文庫刊）
／出演＝ダコタ・ブルー・リチャーズ／ニコール・キッドマン／ダニエル・クレイグ／エヴァ
・グリーン／サム・エリオット／サイモン・マクバーニー／ジム・カーター／クレア・ヒ
ギンス／ベン・ウォーカー／トム・コートネー／ジャック・シェパード／声の出演＝イア
ン・マッケラン／イアン・マクシェーン（ギャガ・コミュニケーションズ、松竹配給／2007
年アメリカ映画／112分）

第2章

映像が先か、
活字が先か

……『ロード・オブ・ザ・リング』『ハリー・ポッター』『ナルニア国物語』
に続くイギリスのファンタジー大作が遂に上陸！「パラレルワールド（平行
世界）」「ダイモン（守護精霊）」等の前提事実や、ゴブラー（人さらい）族、
ジブシャン族、魔女族、鎧熊（よろいぐま）族、等さまざまなキャラの理解
が不可欠。黄金の羅針盤は、「隠された真実を示す」とだけ紹介されているが、
ライラの北方への旅は一体何を求めるもの……？『ハリー・ポッター』にそ
ろそろ飽きた人には、お口直しに最適かも……？

🎬 イギリス文学は、なぜこんなに……？

イギリス文学の代表は何といってもシェークスピアだろうが、近時次々とハリウッ
ドで映画化・シリーズ化されている『ロード・オブ・ザ・リング』『ハリー・ポッター』
『ナルニア国物語』の原作はすべてイギリス文学。そして、今回シリーズ第1作
として映画化されたこの映画も、世界中でベストセラーとなっているフィリップ・ブ
ルマン原作の『ライラの冒険』シリーズ。

日本は今、若者たちの本離れ・活字離れが顕著な反面、安易な（？）ケータイ小説
やブログ小説が花盛りとなっている。それなのに、イギリスではこんな骨太の（？）
ファンタジー大作が書かれ、またなぜ世界中で大ヒットしているの……？ 誰か、私
のそんな疑問に答えてくれる人は……？

たくさんの前提事実の理解が不可欠！

『ロード・オブ・ザ・リング』『ハリー・ポッター』『ナルニア国物語』という3つのイギリス発のファンタジー原作は、大作だけに世界観の広がりや登場人物の多様性を理解するのが大変なうえ、前提事実として設定されているさまざまなルールや概念を理解するのが大変だった。そしてそれは、この『ライラの冒険』も同じ。

まず第1の前提事実は、平行世界（パラレルワールド）とその謎を解く道具としての、隠された真実を示す黄金の羅針盤だが、さてその意味するものは……？ 第2の前提事実は、ライラの世界の人々は必ず1人に1匹、動物の姿をした「ダイモン」を連れていること。ダイモンとは、私たちが肉体の中に持っている魂が形ある姿で現れたような、こちらの世界で言う「守護精霊」に近いもの。ライラの世界の人々にとって、ダイモンは自分自身であり、生涯の愛すべきパートナーでもあり、決して離れることはできない大切な大切な存在というわけだ。

この2つの前提事実を「バカバカしい！」と思う人は、ミュージカル映画を「バカバカしい！」と断定してしまう人たちと同様、こんなファンタジー映画を受け入れることができないこと明らかだから、観るだけムダ。まずはそんなバカバカしい(?) 前提事実を認めたうえで次に、重要な概念である①ダスト（北の地で発見された神秘的な未知の粒子）、②教権（政治と社会を牛耳る超国家的カルト機関であり教義団体）、③インターシジョン（人間とそのダイモンを切り離す恐ろしい行為）、等を理解する必要がある。そのうえさらにもう1つ、ゴブラー（人さらい）族、ジプシアン族、魔女族、鎧熊（よろいぐま）族、サモエード族、タートル族などの「部族」についても理解しておかなければ……。

ライラはおてんば+嘘つきキャラ……？

「黄金の羅針盤」はシリーズ第1作目だから、いわば全体の導入部。したがって「平行世界」の意味も「黄金の羅針盤」の意味もヒントが示されているだけで、その全貌はわからない。また「ライラの冒険」という統一タイトルは、ライラが隠された真実をもつ「黄金の羅針盤」を持って、別世界へ赴く冒険の旅を指すものだが、第1作ではライラがやっと自分の中に眠る「運命の子」に目覚め、旅に出発するところまで。

幼い頃に両親を亡くしたライラ・ベラクア（ダコタ・ブルー・リチャーズ）は今、探検家であり唯一の身内であるアスリエル卿（ダニエル・クレイグ）の庇護の下に、オックスフォード大学のジョーダン学寮で暮らしていた。12歳のライラは、調理場の下働きをしている親友のロジャー（ベン・ウォーカー）と共に毎日遊び回っていたが、その様子を覗いていると彼女はかなりおてんばで、男の子のグループと平気でケンカするような強気なタイプ。そのうえ、ケンカのやり方をみていると、ハッタリの使い方もうまく、天下一品の嘘つきキャラ……？

そんなライラたちを襲った事件が子供たちの連続誘拐事件。そして、「ゴブラー」と呼ばれる誘拐団に北へ連れていかれ、恐ろしい実験が行われているという噂が立つことに。しかし、ライラたちはそんな恐ろしい事件も遊びに取り入れ、ロジャーたちと「ゴブラーごっこ」を楽しんでいたが、ある日そのロジャーの姿が消えてしまうことに……。

ニコール・キッドマンが悪役に！

私はこの映画の予告編を十数回観た。そしてそのたびに、悩ましいドレスに身を包んだ、ニコール・キッドマンの姿が目には焼きついてしたが、さて本番では……？

彼女もついに40歳を超えたが、その美貌はまだまだ健在。そんな彼女が演ずるのは、この世のものとは思えないほどの美貌と、パワフルな権力を併せ持つ謎の女コルター夫人だが、実は悪役！　そもそも、「ゴブラー（人さらい）」という名前からして邪悪な集団を連想させるが、どうもニコール・キッドマンが扮するコルター夫人はその「ゴブラー」のリーダーらしい。

もっとも、最初はそんなことをおくびにも出さず、ジョーダン学寮からライラを引き取りたいと申し出てきたから、ライラは大喜び。そしてライラがジョーダン学寮を去る時、学寮長から「ライラ、これは真実を示す羅針盤。決して人に渡してはいけないよ。」と言われながら手渡されたのが「黄金の羅針盤」。さてそれはライラにとってどういう意味を……？

それはともかく、コルター夫人が「ゴブラー」のリーダーだとすると、ライラの親友ロジャーを含む多くの子供たちの連続誘拐事件は、このコルター夫人の指図によるもの……？　そうだとすると、それは一体何のため……？

予告編を観ただけでも、コルター夫人の目的が、ライラが持つ「黄金の羅針盤」



TM & © MMVII NEW LINE PRODUCTIONS, INC. ALL RIGHTS RESERVED.

を奪い取ることにあることはすぐに想像できる。そのため、当初やさしくライラに接してライラの信頼を得ていたコールター夫人だったが、ライラは次第に「どこかおかしい」と感じ始め、遂にある時、コールター夫人と決別することに。

第1話だけではコールター夫人の悪役ぶりはまだほんの序の口だが、シリーズが進むにつれて、それが次第に進化していくはず。このシリーズでは、そんなニコール・キッドマンの悪役ぶりをたっぷり楽しまなければ……。

なぜライラは北へ向かうことに……？

ライラが自分の中に眠る「運命の子」に目覚めたのは、誘拐された親友のロジャーを救いたいと強く願った時。つまり、誰にも読めないと言われていた黄金の羅針盤の針が、ライラに真実を語り始めたのだった。

コールター夫人の元を逃げ出し北へ向かったライラが最初に出会ったのは、運河船の上で暮らすジブシャン族のファーダー・コーラム（トム・コートネイ）。彼はジブシャン族で最高の知恵を持つ賢者だが、「教権」が封印したと思っていた黄金の羅針盤をライラが持っているのを見て驚き、ライラにその真意を読む方法を手解きすることに。

続いてライラが会おうのが、北方に向かうライラを支援するテキサス出身の気球乗りリー・スコーズビー（サム・エリオット）や一族に伝わる予言の子供であるライラをさまざまな場面で救う魔女族の女王セラフィナ・ペカーラ（エヴァ・グリーン）。彼女らは今後どんな場面でどんな風にライラの旅に影響を……？ 続いてライラが会おうのが鎧熊族のイオレク・バーニソン（声：イアン・マッケラン）だが、彼はなぜ鎧をつけてないの……？

第1話では鎧熊族が大きなウエイトを

第1話のストーリー構成と見せどころ提供のうえで重要な役割を果たすのが鎧熊族。ちなみに、私が1月27日に観たドキュメンタリー映画『アース』（07年）では、北極に住む白クマが最初と最後を飾る動物として登場していたが、それと同じように、第1話でも鎧熊族の王イオレク・バーニソンが大きな役割を……。

なぜ鎧熊族はダイモンを持たないのか……？ また、なぜ鎧熊族は鎧をつけているのか……？ それはあなた自身で確かめてもらいたいが、ライラがバーニソンの鎧を取り戻すことに力を貸すと約束したため、バーニソンはライラと共に闘う約束を。そこで第1話の見どころの1つとして登場するのが、バーニソンとバーニソンを王の座からひきずりおろし現在の王となっているラグナー・スタールソン（声：イアン・マクシェーン）との闘い。さて、その展開と結末は……？

第1話のハイライトは……？

『ロード・オブ・ザ・リング（第2部）—二つの塔—』（02年）（『シネマルーム2』54頁参照）、『ロード・オブ・ザ・リング（第3部）—王の帰還—』（03年）（『シネマルーム4』44頁参照）、『ナルニア国物語 第1章ライオンと魔女』（05年）（『シネマルーム9』12頁参照）は、大規模な戦闘シーンがハイライトだったが、それは『ライラの冒険』の第1話も同じ。といっても、ライラの機転によって、ゴブラー（人さらい）族の収容施設から誘拐された子供たちを逃走させることに成功したものの、追っかけてきた兵士たちと対峙した時はそんな大規模な戦闘になることは予想できなかったもの。それが第1話最大のハイライトとなる戦闘シーンになったのは、まず鎧熊族のイオレク・バーニソンが助っ人として登場したため。さらにライラたちの応援に駆けつけたのはジブシャン族の面々。さらに空からの援軍となったのがセラフィナ・ペ

カーラ率いる魔女族たちであり、気球乗りのリー・スコーズビー。『ロード・オブ・ザ・リング』ほどの大迫力はないものの、地上戦と空中戦が入り混じった戦闘シーンはそれなりに面白いから、じっくりとお楽しみを。

あなたのダイモンは……？

映画の冒頭に登場する、アスリエル卿が連れているダイモンは、野性的な優雅さと誇り高さを併せ持つ彼の内面を体現したかのような美しいユキヒョウのステルマリア（声：クリスティン・スコット・トーマス）。他方、コールター夫人のダイモンは、金色に輝く毛を持つ狡猾で残酷なゴールデン・モンキー。また、ライラのダイモンは、ライラがまだ子供のため形が定まっていないパンタライモン（声：フレディ・ハイモア）。

ダイモンとは、私たちが肉体の中に持っている魂が形ある姿で現れたような、こちらの世界で言う「守護精霊」に近いものだから、あなたのダイモンは……？ この映画を素直な心で観れば、誰もが「私のダイモンは……？」と思うはず。そこで、プレスシートと共に試写室の入口でもらったB4の紙には、「あなたのダイモンを調べよう！」というタイトルで、ダイモン判定のやり方の説明があった。そこで私は早速（といっても自分ではパソコンを操れないから事務員に頼んで）私のダイモン判定をしてみると、その結果は……？ 個人情報さらけ出すのは品がないかもしれないが、マイナスはなしという理解であえて公表すれば、私のダイモンはトラでそのキーワードは「孤高、正義感」とのこと。日本的な表現では「当たるも八卦、当たらずも八卦」だが、西洋占星術によるダイモン判定は、ひょっとしてかなり正確……？

2008(平成20)年2月2日記